

里山の管理というのは、名古屋港の水質や名古屋港の生き物にもものすごく関係があると思います。

海は山とつながっており、川までつながっています。山の管理を行えば、海まで健全になるという信念のもとに、里山管理をしながら海の仕事をしています。

今日は、里山管理と外来種侵略ということについて、お話をします。

私の専門は生態学ですが、名古屋工業大学にいます。工業の大学なのでいろいろな工業製品を作るような研究をしている人が沢山おり、私は建設の学科におります。

建設部門ですが、いまは、色々なものが全国で作られており、例えば、最近で有名なものといえば、リニア新幹線のことを大きな問題となっています。

どうしたら環境に影響がないように、なるべく少なくできるように、建設ができるかということを、学生たちに学んでもらうために私がいます。

まずは、SDGs についてです。SDGs というのは、名古屋港管理組合が取り組んでいる活動の中の一つの課題になります。

それは何に関係するかというと、里山と非常に関係があります。里山の自然はどんなところか、人間の攪乱の作用が現在ではどのように変化してきているのか、その攪乱をすると外来種が入ってきてしまうので、外来種についても話をしていきます。

『SDGs』は、2015年9月に国連のサミットで国際社会の共通目標として掲げられたものです。2015年～2030年までの間の長期的な開発の指針として、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」という形で出されているものです。

SDGs が出る前は「MDGs」という形で世界の国々が環境問題について取り組もうとする目標がありました。

ところがこのMDGsというのは、発展途上国を先進国が援助するというような題材だったのでね。

「発展途上国を先進国が援助する」ことで、その内容は先進国が決めていることから、途上国からは反発がありました。

要するに、誰が環境を壊してきたかということ先進国です。先進国が環境を壊してきたのに発展途上国に援助して環境のことをもっと大事にしてもらおうということです。

したがって、新しく国連がこの17個の目標について発展途上国を援助するのではなくて、みんなで取り組もうという形に変えたものです。

配布資料より抜粋（プロジェクターに映し出された）

▼ CURRENT ASSESSMENT - SDG DASHBOARD



「貧困をなくそう」・「飢餓をゼロに」・「すべての人に健康と福祉を」・「質の高い教育をみんなに」・「ジェンダーの平等を実現しよう」・「安全な水とトイレを世界中に」・「エネルギーをみんなにそしてクリーンなエネルギーを使いましょう」・「働きがいも経済成長もしていきましょう」・「産業と技術革新の基盤を作ろう」・「人や国の不平等をなくそう」・「住み続けられる街づくりを」・「作る責任と使う責任」・「気候変動に具体的な対策をしよう」・「海の豊かさを守ろう」・「陸の豊かさを守ろう」・「平和と公正をすべての人に」・「パートナーシップで目標を達成しよう」という、高尚な目標が掲げられています。

もともと MDGs は「極度の貧困と飢餓の撲滅」・「初等教育の完全普及」・「ジェンダーの平等と女性の地位向上」・「乳児死亡率の削減」・「妊産婦の健康改善」・「HIV/エイズ/マラリアその他の疾病の蔓延防止」・「環境の持続可能性の保証」・「開発のためのグローバルなパートナーシップ」という目標でした。

SDGs は施しではなく、みんなで共同してやっていかなければならない、ということで 17 の目標と 169 のターゲットができたわけです。

私たちは、いろいろなものを使うときに、もしくはいろいろな製品を開発するために株式で投資をしたりしています。いろんな国がその企業にお金を援助したり、投資をしたりし、その機関投資家はその企業に投資をする際に、環境に配慮しているかどうかを投資する基準に選びなさいということです。

機関投資家は、投資をする際に環境に配慮して社会とかガバナンスに対して責任をも

っている企業に投資をとということが目標です。

投資家は企業への投資をする際にその企業が財務情報だけでなく、環境や社会に責任を果たしているかを重視すべきだということを提言しているわけですが、環境や社会への責任を果たしている企業ってどういう企業だと思いますか。

物をつくる企業、衣食住を作っている企業に、果たして環境に配慮しているかどうかってことを考えなければいけない。

実は 7、8 年前にヨーロッパで非買運動が起きました。どういう非買運動かっていうと、キットカットを作っている企業あります。

ネスレがキットカットを作っていました。ネスレのキットカットは非買運動を受けたわけです。

ネスレは、キットカットはパームオイルを使って、作っています。パームオイルは、熱帯雨林を伐採してパームを植えて作っています。果たして、このキットカットを作っている企業は、環境のことを配慮していると思いますか。

環境のことを配慮しているとは思えないから、ネスレに起業家は投資するべきではないわけです。

でも、ネスレは儲かっており、キットカットおいしいからです。だからみんな買うわけです。それで、キットカットを買うのをやめることが、ヨーロッパで流行ってキットカットを買わないようになったが、企業は、大打撃を受けてパームオイルを使う際に環境に配慮した取り組みをおこない、ネスレではいろいろ環境に対する配慮をするようになったわけです。

私たちは何かを使うときに、これは SDGs を考えるとき、何かを使うとき、何かを買うときに必ず企業の責任をとっているかということを考えて、物を買わなきゃいけないわけです。これが SDGs の目標です。

ところが、例えば物を買うときには、「品質のいい物を買います」

品質のいいものに対してもう一つの判断基準は値段です。コストパフォーマンスっていうことを非常に考えると思います。しかし、コストパフォーマンスを考えたときに、安い物はどうやって作られているかということ、環境のことをまず考えずに作られています。